



OmniCADニュース

Vol. 2013-010
2013/4/2
発行:(有)ザ型屋ドットコム

お待たせしました。ホワイト・ライト・スキャンニング(WLS)完成のお知らせです。

この度、OmniCAD社は新しいモジュール(White Light Scanning)の完成とその販売開始を発表しました。

リバースエンジニアリングで、皆さんが探していた 点群を簡単にサーフェースにする機能です。
今まで、できそうでできなかったリバースエンジニアリングですが、この新機能をお使い頂くことにより、皆様の理想のリバースに少しでも近づけたと実感して頂ければ幸いです。

Mesh-Transformerは、主に新型にバックやゴウの見込みを折込む場合とトライ後の精度玉製を想定しています。
従い、SIMからのSTLやCMMからの点群データを元に、ケースバイケースで5段階の精度で見込みを折込むための機能です。

しかし、近年のリバースエンジニアリングで要求されるものは、金型を直接カメラ式デジタイザで測定し、その点群データからコピー型を作りたいというものであり、点群に対して、できる限りゼロに近づけて面を作成する必要があります。それはMesh-Transformerの概念とは、全く違うものでした。

点群の精度、金型のいらぬ部分の削除、データ量の大きさ、処理時間、フィレット部の認識方法等たくさんの課題があります。

OmniCAD開発チームは、2年間に渡りこの課題を検討し開発を行いWLSの完成に至りました。

- 1) OmniCADが得意とするモーフィング処理のため、面落ち・ハガレ等の不具合はほとんどありません。
- 2) 0から0.3mmまでの精度で、点群に対して忠実に面になります。(点群の精度による)
- 3) 必要なデータは、元の製品面データとデジタイザで取った点群データの2点だけです。
- 4) 時間もホイールハウス1個で、約3分で処理が終わります。(PCIによる)

他のソフトでリバースを行い不具合の手直しに時間がかかっていた皆様、点群データが大きすぎて処理出来ずに困っていた皆様、是非 OmniCADのWLSをお使い下さい。

作業効率が劇的に変わります。

面完成後、面精度チェックをして、直ぐにNCへ回せます。

OmniCADは、データ量が多くてもフリーズすることはありません。

日本での販売価格やトレーニングのご予約は、下記までお問合せ下さい。

担当: 高橋、高城 電話:0276-46-8400